

2. 結婚の状況と結婚意識

2-1. 結婚のきっかけ(Q2)

【男性】

【若年無子家族】および【若年一人っ子家族】では、「一緒に暮らしたかったのが最大のきっかけになっているが、【継続無子家族】では「自分の年齢を考えて」が最も多くなっている。また【若年一人っ子家族】では「子どもができたので」が1割程度みられる。

一方、【継続無子家族】では「家族・子どもが欲しくなったので」が他グループに比べて低い。

【女性】

男性同様、【継続無子家族】では、「自分の年齢を考えて」が目立って多い。

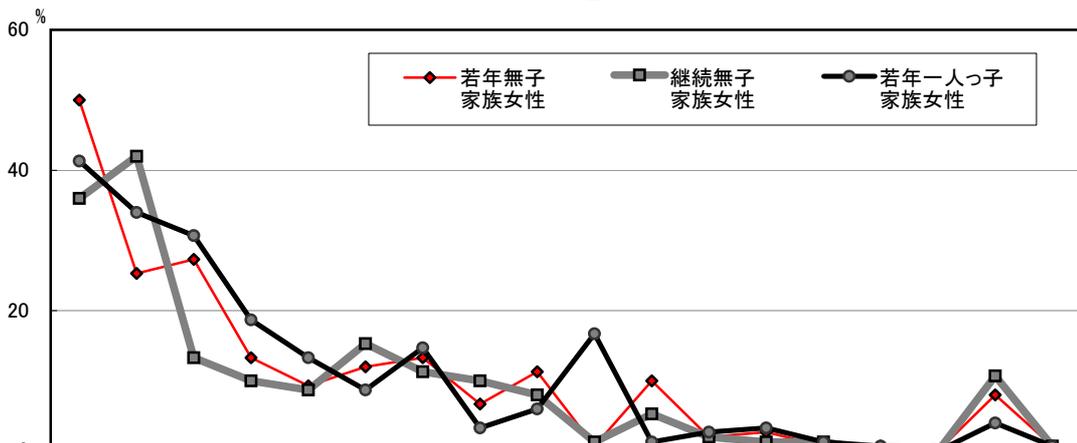
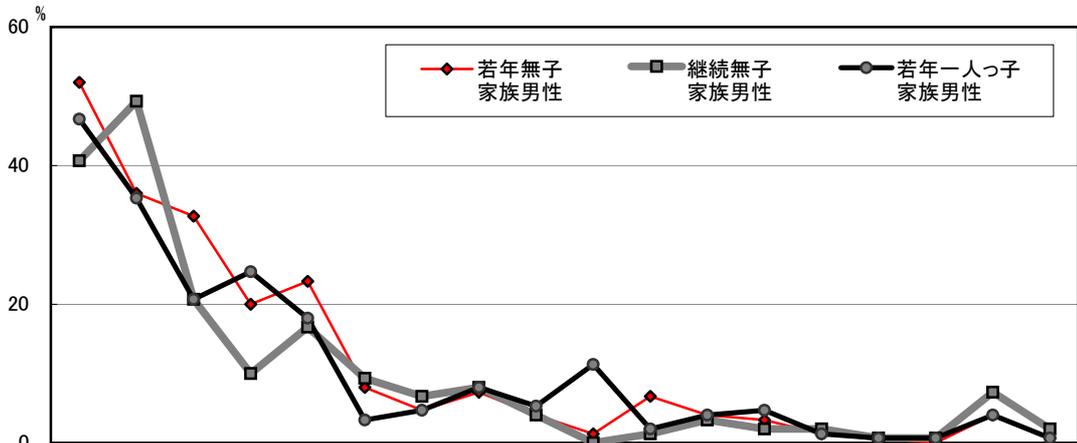
また、【継続無子家族】では、「親が心配しているのが」上位に挙げられており、「友達・仲間の多くが結婚したのも」他グループに比べて高い。

一方、【若年無子家族】では「生活に変化がほしくなった」「結婚した方が経済的に楽になると思った」が他グループに比べて高い。また、【若年一人っ子家族】では「子どもができたので」が2割近くみられる。

図表2-1-1. 結婚のきっかけ(複数回答)(基数:全体)

各グループN=150		1位	%	2位	%	3位	%
男性	若年無子家族	一緒に暮らしたかった	52.0	自分の年齢を考えて	36.0	交際期間の長さを考えて	32.7
	継続無子家族	自分の年齢を考えて	49.3	一緒に暮らしたかった	40.7	交際期間の長さを考えて	20.7
	若年一人っ子家族	一緒に暮らしたかった	46.7	自分の年齢を考えて	35.3	家族・子どもが欲しくなった	24.7
女性	若年無子家族	一緒に暮らしたかった	50.0	交際期間の長さを考えて	27.3	自分の年齢を考えて	25.3
	継続無子家族	自分の年齢を考えて	42.0	一緒に暮らしたかった	36.0	親が心配しているのが	15.3
	若年一人っ子家族	一緒に暮らしたかった	41.3	自分の年齢を考えて	34.0	交際期間の長さを考えて	30.7

図表2-1-2. 結婚のきっかけ(複数回答)(基数:全体)



各グループ
N=150

	きっかけはないが一緒に暮らしたかった	自分の年令を考えて	交際期間の長さを考えて	家族・子どもが欲しくなったので	相手の年令を考えて	親が心配しているの	相手に結婚を迫られて	友達・仲間の多くが結婚したので	生活に変化が欲しくなったので	子どもができたので	結婚した方が経済的に楽になると思ったので	親の年令を考えて	転職・海外赴任が決まったので	近親者になったので	職場の上司から薦められて	ライバルが出現したので	その他	無記入
若年無子家族男性	52.0	36.0	32.7	20.0	23.3	8.0	4.7	7.3	4.0	1.3	6.7	4.0	3.3	1.3	0.7	0.0	4.0	0.7
継続無子家族男性	40.7	49.3	20.7	10.0	16.7	9.3	6.7	8.0	4.0	0.0	1.3	3.3	2.0	2.0	0.7	0.7	7.3	2.0
若年一人っ子家族男性	46.7	35.3	20.7	24.7	18.0	3.3	4.7	8.0	5.3	11.3	2.0	4.0	4.7	1.3	0.7	0.7	4.0	0.7
若年無子家族女性	50.0	25.3	27.3	13.3	9.3	12.0	13.3	6.7	11.3	0.7	10.0	2.0	2.7	0.7	0.7	0.0	8.0	0.7
継続無子家族女性	36.0	42.0	13.3	10.0	8.7	15.3	11.3	10.0	8.0	1.3	5.3	2.0	1.3	1.3	0.0	0.0	10.7	0.7
若年一人っ子家族女性	41.3	34.0	30.7	18.7	13.3	8.7	14.7	3.3	6.0	16.7	1.3	2.7	3.3	1.3	0.7	0.0	4.0	0.7

2-2. 結婚年齢(Q4-1)

【男性】

【若年無子家族】及び【若年一人っ子家族】では、20代で結婚した人が7割を占めるが、【継続無子家族】では、4割強にとどまる。平均結婚年齢も30.9歳と高め。

【若年無子家族】 20代で結婚した割合：70.0% 平均年齢：28.4歳

【継続無子家族】 20代で結婚した割合：43.3% 平均年齢：30.9歳

【若年一人っ子家族】 20代で結婚した割合：70.7% 平均年齢：27.9歳

【女性】

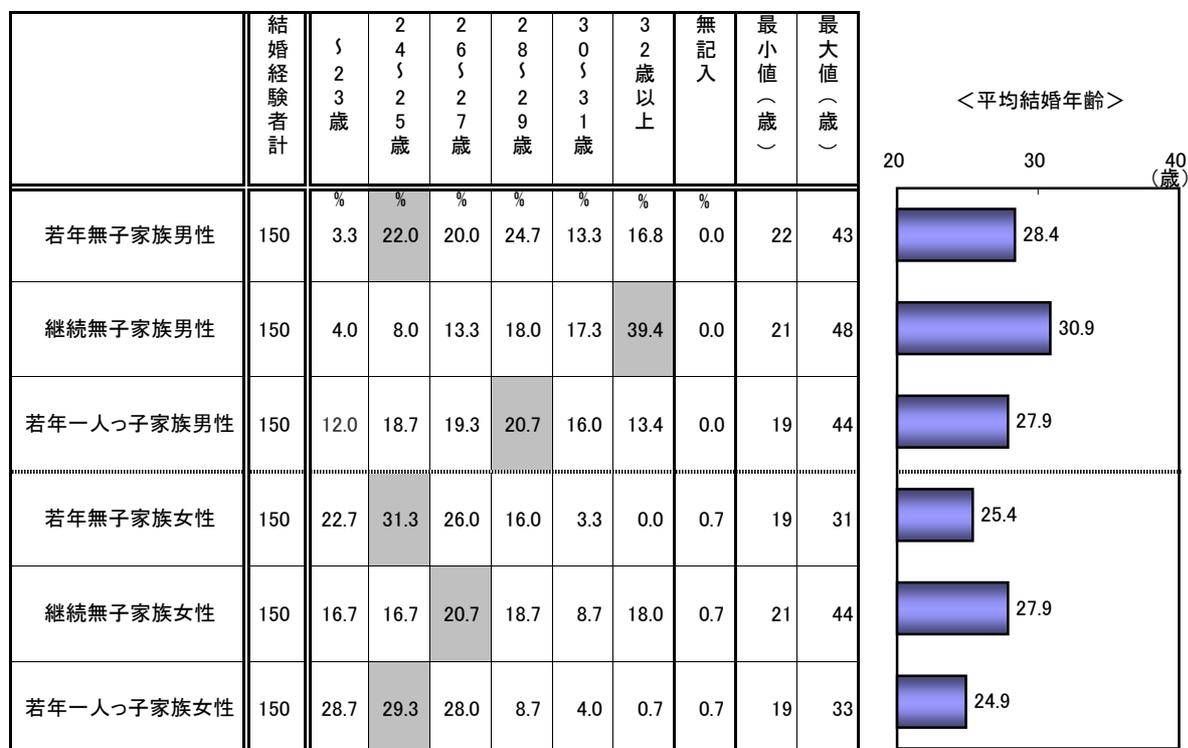
【若年無子家族】及び【若年一人っ子家族】では、20代で結婚した人が9割以上を占めるが、【継続無子家族】では、7割強にとどまる。平均結婚年齢も27.9歳と高め。

【若年無子家族】 20代で結婚した割合：96.0% 平均年齢：25.4歳

【継続無子家族】 20代で結婚した割合：72.8% 平均年齢：27.9歳

【若年一人っ子家族】 20代で結婚した割合：94.7% 平均年齢：24.9歳

図表2-2. 結婚年齢(単数回答)(基数:全体)



2-3. 結婚相手の条件(Q5)

【男性】

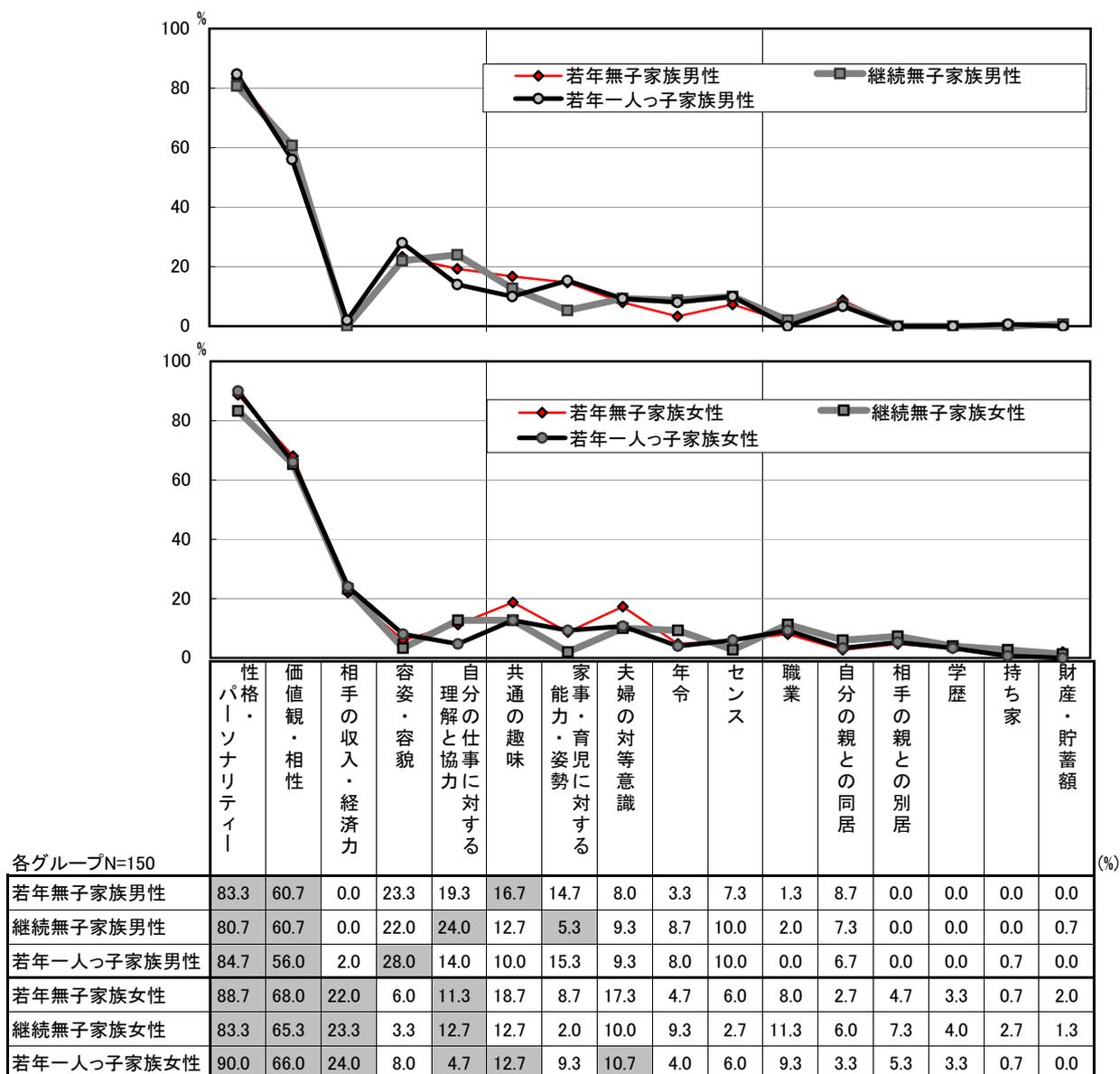
どのグループも、まず第1に「性格・パーソナリティー」、ついで「価値観・相性」を条件としている。

【若年無子家族】では「共通の趣味」、【若年一人っ子家族】では「容姿・容貌」が他グループに比べて多い。また、【継続無子家族】では「自分の仕事に対する理解と協力」が比較的多い反面、「家事・育児に対する能力・姿勢」は若年グループに比べて少ない。

【女性】

男性同様、どのグループでも「性格・パーソナリティー」「価値観・相性」が2大条件。また、「経済力」を挙げる人が2割強みられる。無子家族グループでは「自分の仕事に対する理解・協力」を挙げる人が1割程度みられ、【若年一人っ子家族】に比べ多い。また、【若年無子家族】では「共通の趣味」「夫婦の対等意識」が他グループに比べて多くなっている。

図表2-3. 結婚相手の条件(回答3つまで)(基数:全体)



2-4. 結婚のよい点(Q6-1)

【男性】

結婚のよい点として、【若年無子家族】は「好きな人と一緒にいられる」、【継続無子家族】は「精神的な安定が得られる」、【若年一人っ子家族】は「家族や子どもを持てる」が最も多い。

「家族や子どもを持てる」は【若年一人っ子家族】では83.3%と8割を超えているのに対し、【若年無子家族】は48.7%、【継続無子家族】では32.0%であり、各グループ間の差が大きい。

【女性】

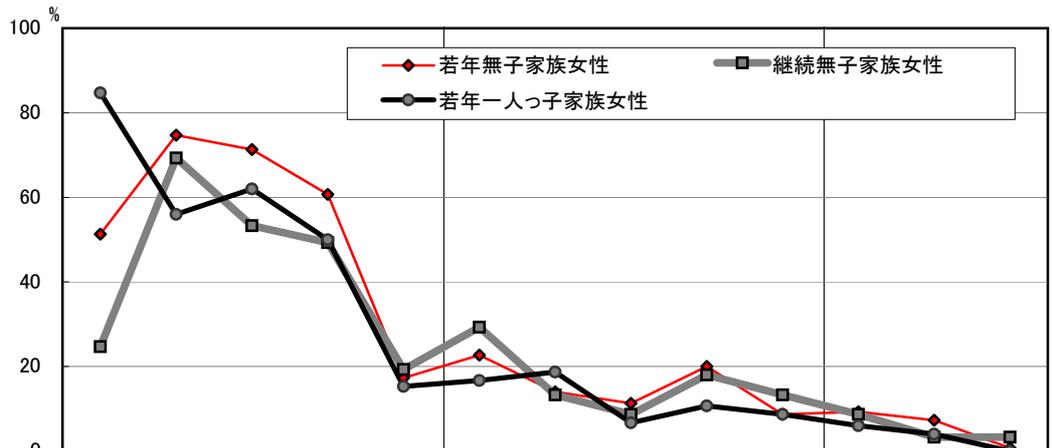
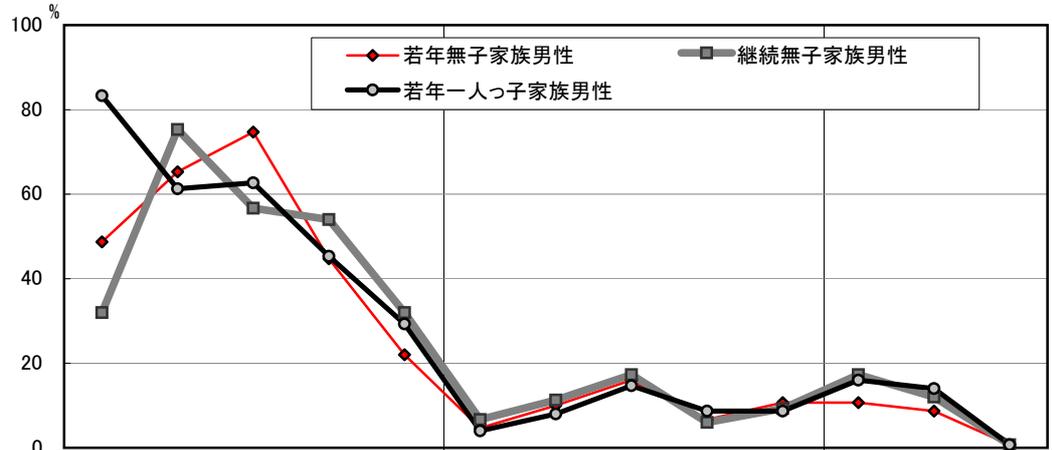
男性同様、【若年一人っ子家族】では「家族や子どもを持てる」が8割を超え、圧倒的に多いが、無子家族グループでは「精神的な安定が得られる」「好きな人と一緒にいられる」の方が上位にあがっている。

「家族や子どもを持てる」は【若年一人っ子家族】で84.7%に対し、【若年無子家族】は51.3%、【継続無子家族】では24.7%と、各グループ間の差が大きい。

図表2-4-1. 結婚のよい点・ベスト5(複数回答)(基数:全体) 各グループN=150

		若年無子家族	%	継続無子家族	%	若年一人っ子家族	%
男性	1位	好きな人と一緒にいられる	74.7	精神的な安定が得られる	75.3	家族や子どもを持てる	83.3
	2位	精神的な安定が得られる	65.3	好きな人と一緒にいられる	56.7	好きな人と一緒にいられる	62.7
	3位	家族や子どもを持てる	48.7	人生の喜びや悲しみを分かち合える	54.0	精神的な安定が得られる	61.3
	4位	人生の喜びや悲しみを分かち合える	44.7	家族や子どもを持てる	32.0	人生の喜びや悲しみを分かち合える	45.3
	5位	社会的な信用が得られる	22.0	社会的な信用が得られる	32.0	社会的な信用が得られる	29.3
女性	1位	精神的な安定が得られる	74.7	精神的な安定が得られる	69.3	家族や子どもを持てる	84.7
	2位	好きな人と一緒にいられる	71.3	好きな人と一緒にいられる	53.3	好きな人と一緒にいられる	62.0
	3位	人生の喜びや悲しみを分かち合える	60.7	人生の喜びや悲しみを分かち合える	49.3	精神的な安定が得られる	56.0
	4位	家族や子どもを持てる	51.3	経済的な安定が得られる	29.3	人生の喜びや悲しみを分かち合える	50.0
	5位	経済的な安定が得られる	22.7	家族や子どもを持てる	24.7	親や周囲の期待に応えられる	18.7

図表2-4-2. 結婚のよい点(複数回答)(基数:全体)



	家族や子どもを持てる	精神的な安定が得られる	好きな人と一緒にいられる	人生の喜びや悲しみを分かち合える	社会的な信用が得られる	経済的な安定が得られる	親や周囲の期待に応えられる	一人前の大人だと感じられる	親から独立できる	交友関係が広がる	生活上の不便が無くなる	性的な充足が得られる	あてはまるものはない
各グループN=150													(%)
若年無子家族男性	48.7	65.3	74.7	44.7	22.0	4.7	10.0	16.0	6.7	10.7	10.7	8.7	0.7
継続無子家族男性	32.0	75.3	56.7	54.0	32.0	6.7	11.3	17.3	6.0	9.3	17.3	12.0	0.7
若年一人っ子家族男性	83.3	61.3	62.7	45.3	29.3	4.0	8.0	14.7	8.7	8.7	16.0	14.0	0.7
若年無子家族女性	51.3	74.7	71.3	60.7	17.3	22.7	14.0	11.3	20.0	8.7	9.3	7.3	0.7
継続無子家族女性	24.7	69.3	53.3	49.3	19.3	29.3	13.3	8.7	18.0	13.3	8.7	3.3	3.3
若年一人っ子家族女性	84.7	56.0	62.0	50.0	15.3	16.7	18.7	6.7	10.7	8.7	6.0	4.0	0.0

2-5. 結婚のよくない点(Q6-2)

【男性】

男性が考える結婚のよくない点は「自分の自由になるお金がなくなる」「行動が制限される」「自分の自由になる時間がなくなる」であり、どのグループも共通している。

【女性】

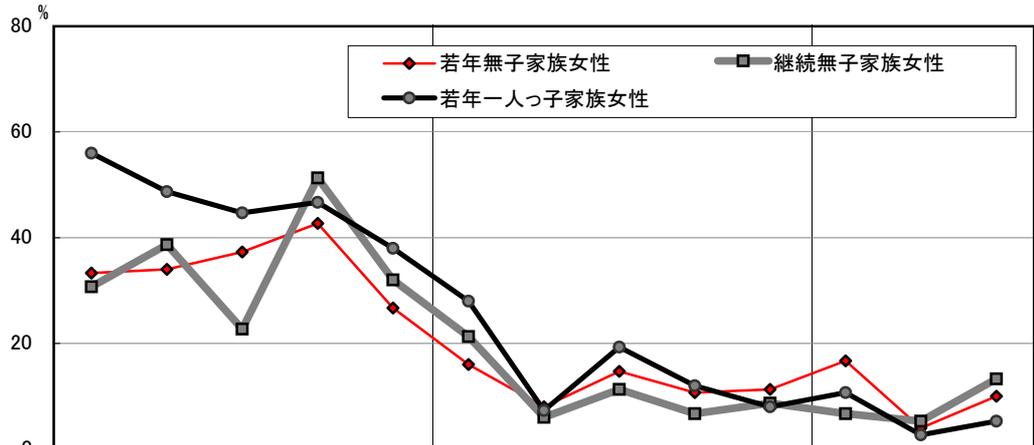
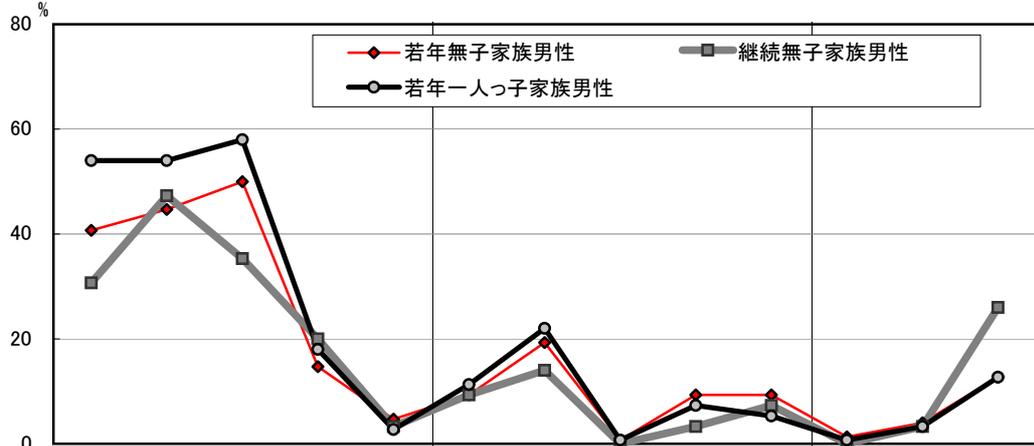
無子家族グループでは「義父母や親戚など人間関係が複雑になる」が最大のよくない点と意識されているのに対し、【若年一人っ子家族】では「自分の自由になる時間が少なくなる」が最も高く、5割を超えている。

女性の場合、男性に比べて「自分の自由になるお金が少なくなる」の割合は総じて低いが、「義父母や親戚など人間関係が複雑になる」や「家事に縛られる」といったことがよくない点として強く意識されている。

図表2-5-1. 結婚のよくない点・ベスト5(複数回答)(基数:全体) 各グループN=150

		若年無子家族	%	継続無子家族	%	若年一人っ子家族	%
男性	1位	自分の自由になるお金が少なくなる	50.0	行動が制限される	47.3	自分の自由になるお金が少なくなる	58.0
	2位	行動が制限される	44.7	自分の自由になるお金が少なくなる	35.3	自分の自由になる時間が少なくなる	54.0
	3位	自分の自由になる時間が少なくなる	40.7	自分の自由になる時間が少なくなる	30.7	行動が制限される	54.0
	4位	家族扶養の責任が生まれる	19.3	義父母や親戚など人間関係が複雑になる	20.0	家族扶養の責任が生まれる	22.0
	5位	義父母や親戚など人間関係が複雑になる	14.7	家族扶養の責任が生まれる	14.0	義父母や親戚など人間関係が複雑になる	18.0
女性	1位	義父母や親戚など人間関係が複雑になる	42.7	義父母や親戚など人間関係が複雑になる	51.3	自分の自由になる時間が少なくなる	56.0
	2位	自分の自由になるお金が少なくなる	37.3	行動が制限される	38.7	行動が制限される	48.7
	3位	行動が制限される	34.0	家事に縛られる	32.0	義父母や親戚など人間関係が複雑になる	46.7
	4位	自分の自由になる時間が少なくなる	33.3	自分の自由になる時間が少なくなる	30.7	自分の自由になるお金が少なくなる	44.7
	5位	家事に縛られる	26.7	自分の自由になるお金が少なくなる	22.7	家事に縛られる	38.0

図表2-5-2. 結婚のよくない点(複数回答)(基数:全体)



	自分の自由が少なくなる	行動が制限される	自分の自由が少なくなる	義父母や親戚など人間関係が複雑になる	家事に縛られる	ストレスがたまる	家族扶養の責任が生まれる	仕事やしづらくなる／いや	交友関係が狭くなる	恋愛が自由にできなくなる	親元から離れなければならなくなる	生活のレベル・質が落ちる	あてはまるものはない
各グループN=150													(%)
若年無子家族男性	40.7	44.7	50.0	14.7	4.7	9.3	19.3	0.7	9.3	9.3	1.3	4.0	12.7
継続無子家族男性	30.7	47.3	35.3	20.0	3.3	9.3	14.0	0.0	3.3	7.3	0.0	3.3	26.0
若年一人っ子家族男性	54.0	54.0	58.0	18.0	2.7	11.3	22.0	0.7	7.3	5.3	0.7	3.3	12.7
若年無子家族女性	33.3	34.0	37.3	42.7	26.7	16.0	8.0	14.7	10.7	11.3	16.7	4.0	10.0
継続無子家族女性	30.7	38.7	22.7	51.3	32.0	21.3	6.0	11.3	6.7	8.7	6.7	5.3	13.3
若年一人っ子家族女性	56.0	48.7	44.7	46.7	38.0	28.0	7.3	19.3	12.0	8.0	10.7	2.7	5.3

2-6. 『女性の結婚』『男性の結婚』に対する意見

2-6-1. 『女性の結婚』に対する意見(Q7)

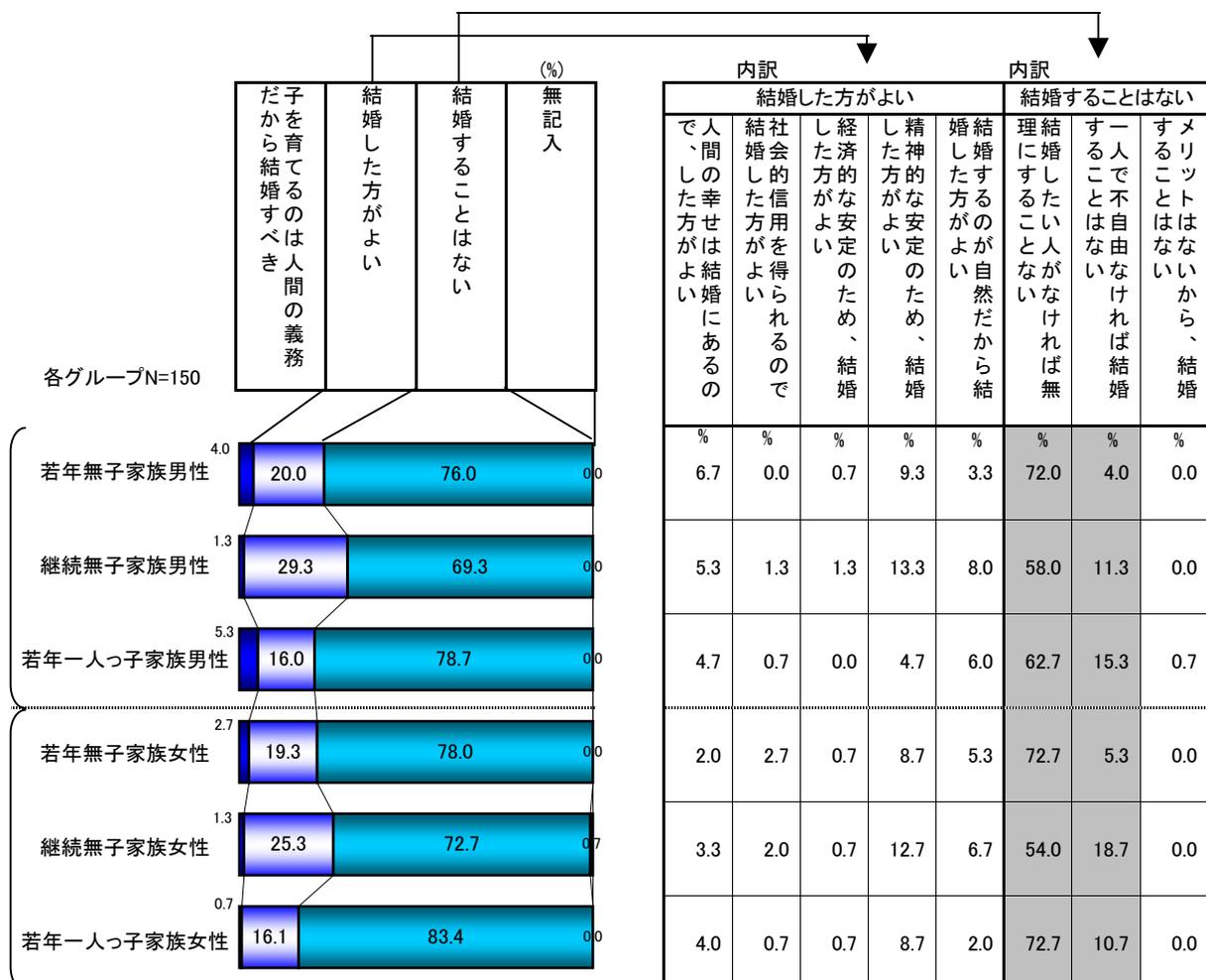
【男性】

『女性の結婚』に関する男性の意見をみると、「子を育てるのは人間の義務だから結婚すべき」と考えている人はごく少数である。また理由はともかくとして「結婚した方がよい」と考えている人は2～3割にとどまり、6～7割は「結婚したい人がいなければ無理に結婚することはない」と考えている。「結婚したい人がいなければ／1人で不自由なれば結婚することはない」と考えている人は、特に【若年無子家族】、【若年一人っ子家族】に多く、若い人ほどこの傾向が顕著になっていることがうかがえる。

【女性】

「結婚したい人がいなければ／1人で不自由なれば結婚することはない」と考えている人は、【若年一人っ子家族】では83.3%に達する。【若年無子家族】:78.0%、【継続無子家族】:72.7%であり、男性同様、若い人ほど「無理に結婚することはない」という意識が強くなっている。

図表2-6-1. 『女性の結婚』への意見(単数回答)(基数:全体)



2-6-2. 『男性の結婚』に対する意見(Q8)

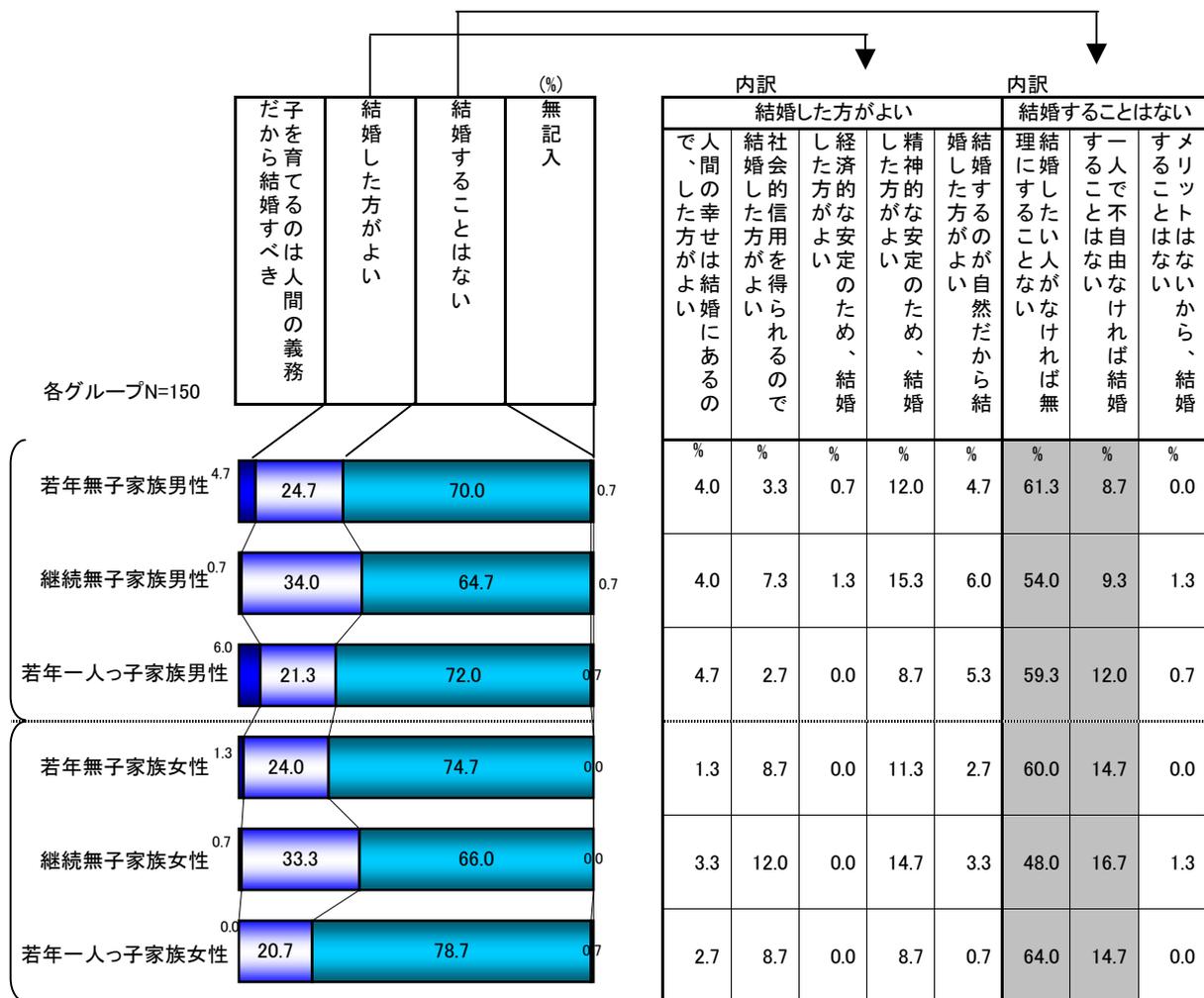
【男性】

『男性の結婚』に関しても「結婚したい人がいなければ／1人で不自由なければ結婚することはない」とする人が多く、どのグループでも6～7割を占めているが、『女性の結婚』に比べると、その割合は低い。「結婚した方がよい」とする人は、【継続無子家族】に比較的多い。

【女性】

男性と同様の傾向がみられる。

図表2-6-2. 『男性の結婚』への意見(単数回答)(基数:全体)



2-7. 結婚に対する意識

2-7-1. 『結婚には喜びや希望を感じる』に対する意見(Q9-①)

【男性】

どのグループも9割以上が肯定している。「とてもそう思う」という積極的肯定者はほぼ5割である。

【女性】

男性同様、大半の人が肯定しているが、【継続無子家族】の積極的肯定者は3割弱にとどまり、若年グループに比べて少ない。

2-7-2. 『結婚しないで子どもを持ってもいいと思う』に対する意見(Q9-②)

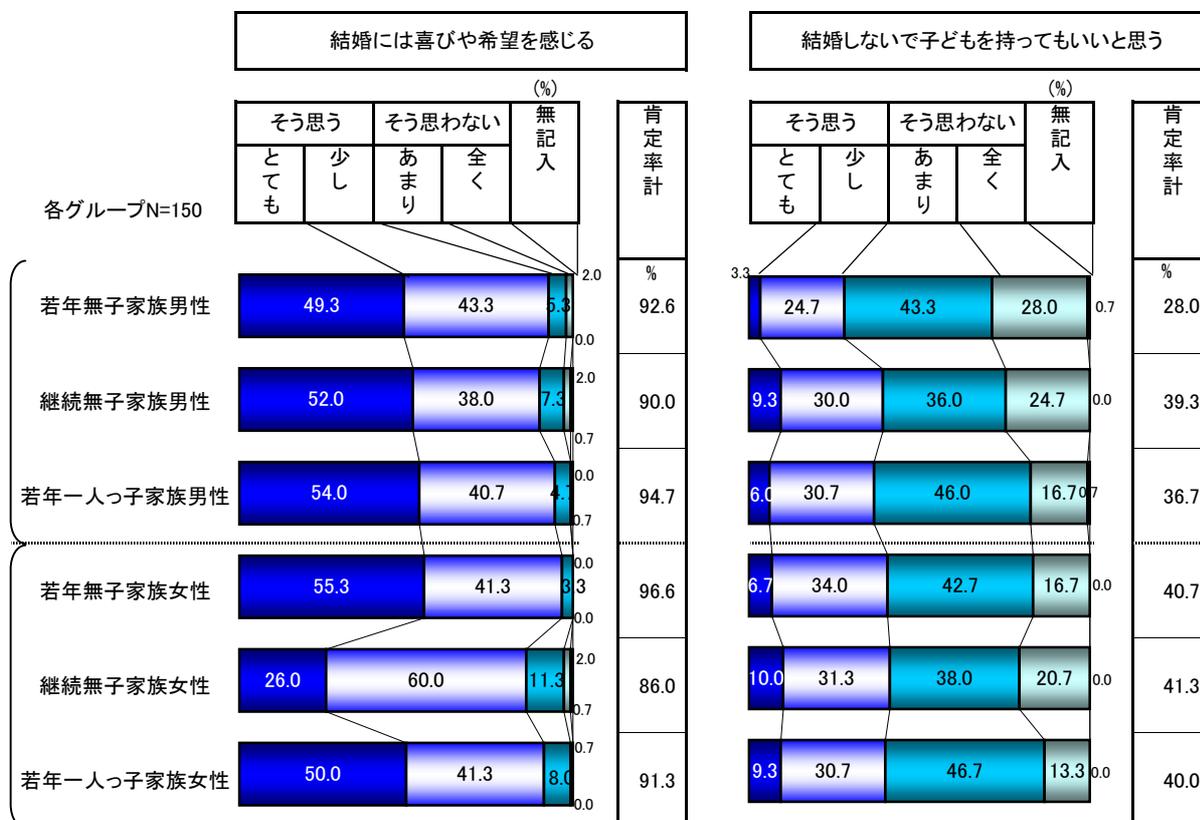
【男性】

どのグループも肯定率は3割弱～4割で、特に【若年無子家族】で少なくなっている。

【女性】

どのグループも肯定率は4割程度となっている。

図表2-7-1. 結婚に関する意見(単数回答)(基数:全体)



2-7-3. 『子どもができたという理由で結婚するのは望ましくない』に対する意見(Q9-③)

【男性】

「子どもができたという理由で結婚するのは望ましくない」という意見に、どのグループでも4割前後の者が肯定している。

【女性】

男性と大差ないが、無子家族では肯定者が4割を超えている。

2-7-4. 『一度家庭を持ったら、余程のことがない限り離婚すべきでない』に対する意見(Q9-④)

【男性】

どのグループも大半は「離婚すべきでない」と考えているが、その割合は【継続無子家族】ではやや低い。

【女性】

「離婚すべきでない」と考える人は6～7割で男性に比べると低く、女性の方が離婚を許容する傾向が強い。特に【継続無子家族】でその傾向が強い。

図表2-7-2. 結婚に関する意見(単数回答)(基数:全体)

